

公益財団法人大阪ユースホステル協会の活動目的である「青少年の健全育成」に、平成 30 年度も積極的に取り組んでまいります。その目的の達成のために時代の変化や社会の要請の変化にも柔軟に対応し、施設の特徴を活かした魅力の付加や事業の価値と楽しさがより伝わるよう工夫し、ホームページやチラシからの発信だけでなく、全国のユースホステルや各種関係団体との連携を通して幅広く発信します。また、設備の整備や接客対応の向上など、より利用者に喜ばれるサービスを提供いたします。

基本方針

1. 青少年健全育成への取り組み

拠点となる 3 つの青少年施設の運営および各種事業を通じて、ユースホステル運動の活性化や、青少年の健全育成に取り組めます。また、近畿ブロックユースホステル協会協議会としての共同企画、広報活動の強化に取り組めます。

2. 利用者視点に立つ施設の運営

世界各国から訪れる旅行者のための宿泊施設として、また合宿研修等の会場として、直営、指定管理の各施設を引き続き運営します。「更なる利用促進」「利用者満足度の向上」「施設の健全な維持管理」を基本方針として、新規利用団体の開拓、個人利用者獲得増のための予約サイトの積極的な活用、各種関係団体との連携、ファミリーや小グループにとって使いやすいセットプランの企画を推進します。また、レストランのテーブル、椅子を刷新する大阪国際ユースホステルや、屋根付きバーベキュー場が開業する大阪府立少年自然の家など、設備の向上を積極的にアピールし利用増を図ります。

3. 各種主催事業の実施

子どもや家族を対象とし、体験活動を通じて子どもの成長や家族の絆を深めることを促します。また、ユースホステルの事業を通じて自然や文化や教養等に接してもらうため、全年齢層を対象としてウォーキングやカルチャースクールを実施します。その事業運営に欠かせないボランティアリーダーの育成にも積極的に取り組めます。

4. 人材育成とモチベーションアップ

施設・設備の維持管理や指導のスキルはもとより、礼儀正しい態度、親切で丁寧な接客、利用目的達成のための的確な支援等、クオリティの高い対応を行うために、研修・OJTに加え、海外留学休職制度、通信教育制度などを通じてスタッフの力量だけでなく、働く意欲を高めます。

事業計画

1, ユースホステルの普及・広報

会員の維持と新規会員獲得はもとより、ユースホステルを知らない層に対して、施設や事業を積極的にPRするとともに、あらゆる広報の機会を逸することなく、周知に努めます。

- ・ホームページや、メールマガジン、SNS等を利用した施設や事業の広報
- ・各種パブリシティーや公共施設への情報提供
- ・主催事業をきっかけとしたユースホステルへの誘い
- ・全国14ヶ所のキーホステルと協働した団体の誘致
- ・近畿ブロックユースホステル協議会の一員としての取組み
- ・子ども会の利用促進のためのセットプランを作成

2, ユースホステル運動の事業推進

(1) 子ども事業

- ① 主に当協会施設を利用した日帰りイベント 3本
- ② 宿泊を伴うホステリング・キャンプ 3本
- ③ 関係団体が実施する子ども事業への協力・出展
(子どもカーニバル等)

(2) ウォーキング事業

- ① 健脚者向け長距離歩行やホステリング事業 2本
 - ・第46回伊勢迄歩講(12月)
 - ・一発チャレンジ100km歩行(5月)
- ② 日帰り近郊ウォーキング・ハイキング 4本
- ③ 歩行検定 1本

(3) 会員サービスの事業・国際交流

- ① 旅行相談会(月1回)の開催
- ② 外国人旅行者のためのインフォメーション活動

(4) リーダーと指導者の養成

- ① ボランティアリーダーの委嘱会・合同研修会
- ② ボランティア各組織ごとの専門的研修会

(5) 広報活動

- ① 近畿ブロックユースホステル協議会での共同広報
- ② キーホステル(全国14ヶ所)での共同広報
- ③ モンベルクラブフレンドフェアへのブース出展
- ④ 大阪観光局等が主催する商談会への出席や広報資料の提供

⑤ 各種情報掲載サイトへの情報提供

3, 新大阪事業所(大阪市立青少年センター)

広報の充実とクオリティーの高い接客に努めるとともに、相互利用の促進を図り、文化ゾーン(貸室)稼働率 62%、宿泊ゾーン(新大阪ユースホステル)利用者 24,500 人、カフェ利用者 14,500 人の目標達成を目指します。また、利用者満足度の向上により安定した運営を行うため、設備・備品の更新と充実を進めます。

(1) 文化ゾーン

- ① 設備・備品の更新を順次進め、利用者サービスの向上に努める。
- ② 利用率をより高めるために、当日の空室状況を Facebook に掲載するとともに、利用者の希望施設が無い場合は代替施設の提案を積極的に行う。
- ③ インターネット予約のさらなる推進

(2) 宿泊ゾーン(新大阪ユースホステル)

- ① 学生割引キャンペーンや夜行バスプラン、ファミリーやグループ向け 1 室利用プランなど魅力ある企画を予約サイトで積極的に展開。
- ② 団体宿泊者増加のため、H I 団体取扱いの開始、団体予約サイトへの登録、旅行会社・過去利用団体への営業を実施。
※H I =ホステリングインターナショナル。国際ユースホステル連盟の予約システム。
- ③ 居心地が良く、かつ思い出に残るユースホステルであるために、安心・安全・清潔はもとより、イベント等にも力を入れる。

(3) レストラン(ココカフェ)

- ① 広報の強化
 - ・ホームページ、ぐるなび、ホットペッパー、食べタイム、おでかけマップ(地域広報誌)、ランチパスポートへの掲載。
 - ・Fax での DM による地域利用の促進
- ② タイアップによる利用促進
 - ・ゼクシー結婚式紹介所、オーセプロモーションとのタイアップによる、結婚式二次会や同窓会等の獲得。
- ③ 弁当メニューのバリエーション充実を図り、会議室利用者からの受注を増やす。
- ④ イベントの企画・実施
 - ・童謡 100 周年イベントの開催
 - ・ウイスキー、ビール、日本酒等のイベントの開催

- ・夏季カキ氷のテイクアウト 台湾アイスの復活
- ⑤ 特別支援学校の校外学習におけるアレルギーや摂食障がいに対応した昼食の提供

(4) 事業の企画と実施

- ① 青少年育成事業
 - ・ここぷらキッズイベント 毎月1回
 - ・KIDS DANCE 1コース
 - ・七夕まつり(笹と短冊の設置) 7月
 - ・夏休み 親子で楽しむ工作教室 8月
 - ・高校生KOKOチャレンジアワード
(バンドやダンスのコンテスト) 9月予選・1月決勝
 - ・KOKO秋フェスティバル 10月
 - ・サンクスギビングフェスタ
(練習利用者対象の発表会) 3月
- ② 自主事業
 - ・童謡喫茶 毎月1回
 - ・カルチャー教室
(ヨガ教室、大人のためのピアノ教室など) 年間各3コース
- ③ 宿泊者対象事業
 - ・ロビーコンサート
(クロマチックハーモニカ、ゴスペル、尺八、オカリナ等) 毎月1回
 - ・日本文化体験
(殺陣、折り紙、書道、浴衣着付、コスプレ、茶道等) 毎月2回
 - ・季節のイベント
(七夕、淀川花火、ハロウィン、クリスマス、年末年始、節分、ひな祭り等) 適時
 - ・その他(似顔絵等) 毎月1~2回
- ④ ココカフェイベント事業
 - ・フォークソングナイト 毎月1回
 - ・ココカフェライブ 年10回

(5) 利用獲得目標

	平成30年目標	平成29年見込	見込比
貸室(文化ゾーン) 利用率	245,000人 62%	239,500人 60%	102%
宿泊(新大阪ユースホステル) ベッド稼働率 客室稼働率	24,500人 54% 72%	22,500人 54% 71%	109%
レストラン ランチ (ココカフェ) パーティー 結婚式二次会	14,500人 145組 3,000人 25組 700人	13,400人 134組 2,700人 17組 500人	108% 111% 140%

4. 羽衣事業所(大阪国際ユースホステル・羽衣青少年センター)

体育館屋根の全面改修、食堂のテーブル・椅子の取替え、客室照明のLED化など、より快適にご利用いただけるよう施設・設備の更新をします。

また、近隣施設(浜寺公園、漕艇センター、臨海スポーツセンター)と連携し、それぞれの顧客に対して、宿泊や食事およびミーティングやレクリエーション等が可能な施設として利用の促進に努めます。

(1) 利用促進活動

- ① 食事内容の充実を図り、長期滞在型のスクーリング・学習塾団体への営業活動
- ② 近隣施設を絡めた観光の提案・PR活動の強化
- ③ 研修プログラム提供団体との提携
- ④ インバウンドに特化した旅行会社への営業活動
- ⑤ ネット団体予約システムの構築
- ⑥ 予約サイトの拡充と魅力ある宿泊プランの実施
30年度目標 1,800泊 29年度見込 1,400泊

(2) 施設の管理・運営

- ① 利用者アンケートの提案や改善要望に積極的に取組み、サービス向上に反映させる
- ② 設備の維持管理計画の構築

(3) 地域・人との連携

- ① シルバー世代が気軽に参加できるイベントの実施
- ② 地域の子どもやファミリーを対象としたイベントの実施
- ③ 新規ボランティアの募集と育成

(4) エコ活動の推進

- ① 節電・節水等を入所時のオリエンテーションやポスター掲示等で啓蒙
- ② 客室及び研修施設のLED化を実施

(5) 事業の企画と実施

- ① こども対象の事業
 - ・英語であそぼう 4回×3コース 4～12月
 - ・はごろもキッズデイ 8回
 - ・キッズクッキング 3回×2コース 10～3月
 - ・デイキャンプ 3月
- ② 家族対象の事業
 - ・アウトドアクッキング 6・10・1月
 - ・親子でクラフト 7月
- ③ 一般向けの事業
 - ・教室事業 (ヨガ・太極拳・フラダンス等) 32教室
 - ・童謡喫茶 10回(8・3月除く)
 - ・寄席 6・10月
 - ・ノルディックウォーキングツアー 6・11・3月
- ④ 地域と連携した施設開放の事業
 - ・友×遊フェスティバル 12月
- ⑤ 宿泊者を対象とした事業
 - ・大晦日・元旦の宿泊イベント 12・1月

(6) 利用獲得目標

	平成30年目標	平成29年見込	見込比
羽衣青少年センター 稼働率	145,000人 29%	134,000人 27%	108%
大阪国際ユースホステル ベッド稼働率 客室稼働率	27,000人 36% 40%	26,500人 35% 39%	102%

5, 大阪府立少年自然の家

平成 30 年度改訂の学習指導要領ではそのポイントのひとつとして「体験活動の充実」が謳われています。自然の家では、子どもたちの「生きる力」を育むために、体験活動の充実をさらに進めてまいります。

懸案であったバーベキュー場（バーベキューガーデン奥貝塚）が 3 月に開業しました。既設の学校向け炊飯場と合わせて、ファミリー、小グループなどの一般利用を促進します。

また、リピート利用獲得のため、新たなプログラム作りやオプションサービスの設定、食事メニューの充実化を図り、多様な利用者ニーズにきめ細かく対応してまいります。

(1) 投資による新規利用者層の開拓のための施設整備

- ① バーベキューガーデン奥貝塚の本格稼働によるファミリーや小グループの新規獲得
- ② 研修室等の Wi-Fi 利用範囲の拡大によるさらなる利用促進
- ③ 新たに設置したフィールドアスレチック施設の広報

(2) 利用促進活動

- ① リピーターへの案内および新規獲得のための営業活動の充実
- ② 大人を対象にした野外活動や野外料理プログラムの提供
- ③ インターネットを活用する団体を誘致（企業研修・大学生）
- ④ 外国人利用者の誘致

(3) 施設の管理・運営

- ① 光熱費の削減のために施設内の LED 化の推進
- ② プログラム支援をはじめとしたオプションサービスの設定
- ③ 食物アレルギーや摂食障がいのある方への対応食の提供
- ④ 「森の広場」へのアスレチック設備の整備
- ⑤ 無料 Wi-Fi の有効範囲を拡大
- ⑥ 館内およびホームページにおけるインフォメーションの充実

(4) 社会教育施設としての取り組み

- ① 学校の授業と連動したプログラム提供
- ② 教員や一般向けに野外活動やレクリエーション講習実施
- ③ 食育の推進と食事内容の充実
- ④ 学校との連携、出前講座の実施
- ⑤ ボランティアリーダーの育成と活動場面の拡大
- ⑥ 障がい者の就労支援と人に優しい施設づくり
- ⑦ 近隣市町村との連携

⑧ 青年の家等連絡協議会を中心に他の青少年施設と連携

(5) 事業の企画と実施

① 子ども対象

- ・フォレストジュニアクラブ 6～3月6回
- ・長期自然体験キャンプ 8月
- ・中高生チャレンジキャンプ 8月
- ・アドプトフォレスト事業 11月

② 家族対象

- ・そぶらの森 ホタル観賞の夕べ 6月
- ・自然を丸かじり 7・1月
- ・ファミリーキャンプ 9月
- ・親と子のしぜんのようちえん 9月
- ・ナイトハイキング 10月
- ・家族で遊ぼう 焚き火体験 1・2月7回

③ 社会体育・指導者養成

- ・教員のための野外活動教室 申込みに応じ随時
- ・ツリーイング指導者養成講習会 12月
- ・プロジェクトラーニングツリー講習会 1月

④ 知的障がいのある子どもの支援事業

- ・臨床動作法と乗馬体験 11・3月

⑤ 課題をかかえる青少年への支援事業

- ・青少年の支援キャンプ 11月

⑥ 野外活動と他分野の融合事業

- ・コスプレの森 年間を通じ8回
- ・自然の中でかくれんぼ大会 9月
- ・森の婚活 9月
- ・「森の絵本」をつくろう 10月
- ・森の読書会 11月

⑦ 大人向けの自然体験活動

- ・おとなの遠足 9・11月
- ・中高年ツアー 10月
- ・いきいきシニアアクティブ自然塾 3月

⑧ 地域や市町村等との連携事業

- ・おおさか元気広場 出前講座 申込みに応じ随時
- ・自然の家オープンデー
(音の葉音楽祭・自然体験プログラム等) 11月

(6) 閑散期対策先行予約キャンペーンの実施
体育館・研修室等の使用施設を予約時に確定
(通常、使用施設の確定は1か月前)

(7) 団体向けセットプラン

- ① 野外料理と自然体験活動
- ② ツリーイングやスラックライン等の体験活動
- ③ 子ども会向けにプログラム指導をセットしたモデルプラン
- ④ 季節感のある体験プログラム(餅つき・流しそうめん等)

(8) 利用獲得目標

	平成30年目標	平成29年見込	見込比
日帰りおよび宿泊利用	102,500人	99,300人	103%

< 共同事業体 一般財団法人大阪府青少年活動財団 >

以 上